

介護職員基礎研修科目別シラバス

事業者名	研修担当部署	講習期間	実施場所
医療法人啓信会	ヘルパースクール萌木の村	H24.1.22 ~ H27.1.21	大久保校
科目名	1 生活支援の理念と介護における尊厳の理解		
指導目標	1 人間観や人間像の理解に基づいた尊厳を支える介護・福祉について理解させる。		
	2 介護・福祉サービスを提供するにあたっての基本的視点を形成する。		
細目	時間	内容	
生活支援の理念と介護におけるの理解① 担当講師 村上 由佳	9:30 3 12:40	1 人間理解と尊厳 2 生活の考え方 3 福祉の支援の考え方	① 人間理解の視点、豊かな人間観、多様な価値観 ② 老い ③ 尊厳 ④ 死生観 ⑤ 性 ① 生活の定義 ② 生活の支援の考え方 ① これまでの福祉の考え方の流れ ② ノーマライゼーション ③ QOL ④ 家族介護から社会的介護へ ⑤ エンパワメント、共生
生活支援の理念と介護におけるの理解② 担当講師 村上 由佳	13:30 3 15:40 16:40	4 介護の基本的な視点と意義 5 地域生活支援と保健・医療・福祉サービス及びインフォーマルな活動等とのトータルなネットワーク 6 利用者の権利と尊厳 修了試験	① 尊厳を支えるケア ② 介護の定義 ③ 介護職の専門性 ④ 健康かつ主体的、能動的な生活に向けた自立支援 ⑤ ICFに基づく援助 ⑥ 介護の専門性とチームケア ① すべての人を対象とする地域生活支援 ② 地域アセスメント ③ 資源調整と啓発 ④ フォーマルサービスやフォーマル活動等のトータルなネットワークの重要性 ① 利用者の権利擁護・アドボカシー ② 虐待の防止 ③ 身体拘束の禁止
時間数合計	6		
使用する機器・備品等			
使用テキスト	(財)長寿社会開発センター 介護職員基礎研修テキスト		

介護職員基礎研修科目別シラバス

事業者名	研修担当部署	講習期間	実施場所
医療法人啓信会	ヘルパースクール萌木の村	H24.1.22 ~ H27.1.21	大久保校
科目名	4 認知症の理解		
指導目標	1 認知症の病理や症状、治療について理解させる		
	2 認知症利用者の支援の視点、介護の原則について学ばせる		
	3 認知症利用者への援助方法を学ばせる		
	4 認知症利用者の家族の立場を理解させる		
	5 認知症を支える専門職の役割を学ばせる		
細目	時間	内容	
認知症の理解①	13:30 3	1 認知症の医学的背景の理解	① 年齢相応の物忘れと疾患としての認知症の区別 ② 認知症の問題となる基本障害と行動 ③ 認知症を引き起こす原因疾病、発生誘因 ④ 認知症と間違えられやすい症状 ⑤ 若年性認知症
担当講師 鳥居 峰子	16:40		
認知症の理解②③	9:30 6	2 認知症の心理・行動の理解 3 認知症の利用者への支援・介護の考え方	① 認知症の心理・行動モデル ② 症状と障害の考え方 ③ 問題とみなされがちな行動の捉え方と対応 ① 介護の原則と観察 ② 健康管理、廃用性症候群 ③ 生活環境 ④ 社会環境 ⑤ コミュニケーション ⑥ 問題とみなされがちな行動と介護職としての捉え方
担当講師 團野 千津代	16:40		
認知症の理解④⑤	9:30 6	4 認知症介護における医療・保健・福祉・関係機関、地域資源との連携、及び自立支援のための地域による支えあい 5 家族へのケア	① 家族の心理の共感的理解 ② 専門家としての関わり、対応の方法
担当講師 村上 由佳	15:40 16:40	修了試験	
時間数合計	15		
使用する機器・備品等			
使用テキスト	(財)長寿社会開発センター 介護職員基礎研修テキスト		

介護職員基礎研修科目別シラバス

事業者名	研修担当部署	講習期間	実施場所
医療法人啓信会	ヘルパースクール萌木の村	H24.1.22 ~ H27.1.21	大久保校
科目名	5 介護におけるコミュニケーションと介護技術		
指導目標	1 介護の考え方、視点を理解させる		
	2 利用者とのコミュニケーション、心のケアのための、基礎的態度、技術を習得させる		
	3 利用者を尊重し、個人の尊厳を支えるケアの実際を学ばせる。		
	4 利用者の自立支援・地域生活支援の観点から、心身機能の低下プロセスにそって、介護の意味と基本的な介護技術を習得させる		
	5 介護予防の考え方と方法を習得させる		
細目	時間	内容	
介護におけるコミュニケーションと介護技術① 担当講師 團野 千津代	9:30 5 15:40	1 基本的な介護技術の習得	① 歩行 ② 移動 ③ 外出 ④ 睡眠、夜間のケア ⑤ 食事 ⑥ 口腔ケア
介護におけるコミュニケーションと介護技術② 担当講師 團野 千津代	9:30 5 15:40	2 基本的な介護技術の習得	① 排泄 ② 入浴 ③ 衣服の着脱 ④ 整容 ⑤ 清潔
介護におけるコミュニケーションと介護技術③ 担当講師 村上 由佳	9:30 5 13:10 15:40	3 基本的な介護技術の習得 総合演習 修了試験	① 移乗
介護におけるコミュニケーションと介護技術④ 担当講師 中平 武志	9:30 2.5 12:10	4 介護予防の考え方と方法	① 生活の中の介護予防 ② 介護予防プログラムの基礎
介護におけるコミュニケーションと介護技術⑤ 担当講師 森 恵子	13:10 2.5 14:40 15:40	5 介護の考え方・視点 6 介護におけるコミュニケーションと信頼関係形成 修了試験	① 介護過程の理解 ① 他者理解と共感、受容 ② 傾聴的態度 ③ 自己覚知、気づき ④ 言語コミュニケーションと非言語コミュニケーション ⑤ 言語視覚、聴覚障害者とのコミュニケーション ⑥ アセスメントにつながるコミュニケーションのとりかた ⑦ 専門職としての効果的なアドバイス
時間数合計	20		
使用する機器・備品等	ベッド3台 浴槽 ポータブルトイレ その他介護用品		
使用テキスト	(財)長寿社会開発センター 介護職員基礎研修テキスト		

介護職員基礎研修科目別シラバス

事業者名	研修担当部署	講習期間	実施場所
医療法人啓信会	ヘルパースクール萌木の村	H24.1.22 ~ H27.1.21	大久保校
科目名	7 医療及び看護を提供する者との連携		
指導目標	1 医療・看護との連携の必要性和チームの一員としての介護職の役割を理解させる		
	2 介護職がふれる機会が多い医療機器や薬、関する基礎知識を習得させる		
	3 医療ニーズを持つ利用者に対して、医療・看護との連携の下で行う介護技術を習得させる		
	4 ターミナルケアへの対応について理解させる		
細目	時間	内容	
医療及び看護を提供する者との連携① 担当講師 飯田 千代	10:00 3 13:10	1 医療・看護との連携の基礎的理解 ① 医療・看護との連携の必要性の理解と方法 ② 非医行為の範囲と対応の基礎 2 訪問看護の基礎的な理解 ① 訪問看護制度 ② 訪問看護の援助内容 ③ 在宅医療・在宅看護の進展 3 ターミナルケアの対応 ① ターミナルケアの条件と介護職の役割	
医療及び看護を提供する者との連携② 担当講師 飯田 千代	14:00 3 17:10	4 医療機器、医療用具、薬の基礎的理解 ① 胃瘻、腸瘻、鼻腔栄養、中心静脈栄養、点滴 ② 吸入吸引 ③ 人工呼吸器、在宅酸素 ④ 浣腸、摘便 ⑤ 人工肛門、人口膀胱 ⑥ 薬	
医療及び看護を提供する者との連携③ 担当講師 鳥居 峰子	9:30 3 12:40	5 褥そう予防に関する基礎的な理解 ① 要因と発生機序 ② 介護職が行う褥そう予防・悪化の防止 ③ 医療職が行う褥そうの治療・処置	
医療及び看護を提供する者との連携④⑤ 担当講師 飯田 千代	9:30 6 16:40	6 緊急時の対応法 ① 緊急時における連絡・連携と介護職の役割 修了試験	
時間数合計	15		
使用する機器・備品等			
使用テキスト	(財)長寿社会開発センター 介護職員基礎研修テキスト		

介護職員基礎研修科目別シラバス

事業者名	研修担当部署	講習期間	実施場所
医療法人啓信会	ヘルパースクール萌木の村	H24.1.22 ~ H27.1.21	大久保校
科目名	8 介護における社会福祉援助技術		
指導目標	1 介護において求められるソーシャルワークについて、理念を理解し実践的援助技術を習得させる		
	2 地域を含めた生活環境づくりの視点と方法を理解させる		
	3 困難事例等への対応において、チームの一員として、どのような役割を果たすべきかを考え、連携の具体的方法を学ばせる		
	4 利用者家族とのコミュニケーション技術、家族支援の具体的方法を学ばせる		
細目	時間	内容	
介護における社会福祉援助技術①② 担当講師 森 恵子	9:30 6 16:40	1 介護におけるソーシャルワークの基礎的理解 2 介護における相談援助技術の習得 3 地域に根ざした包括的なケアの必要性 4 地域生活支援の実際	① 介護におけるソーシャルワークの必要性 ② ソーシャルワークの目的と内容 ③ ソーシャルワークの展開 ④ 相談援助とパステティックの7原則 ⑤ 高齢者・障害者(児)の家族の心理の理解 ⑥ 地域生活を支える総合的な住宅ケアシステム ⑦ 各種社会資源・インフォーマルサービスの活用・開発 ⑧ 事業者間連携 ⑨ 施設から在宅へのサービス展開 ⑩ 利用者の生活空間を地域に広げる視点 ⑪ 利用者のインフォーマルなつながりの重要性 ⑫ 近隣への依頼・連携の方法 ⑬ 地域環境を活かしたケアの実際 ⑭ 地域資源とのネットワーク作り
介護における社会福祉援助技術③ 担当講師 村上 由佳	9:30 3 12:40	5 困難事例に対する援助活動の展開 6 虐待防止、消費者被害、権利擁護への対応	① サービス拒否、た問題ケース、家族とのトラブル ② 不適正事例 ③ 介護サービスを通じての問題発見 ④ 問題が疑われる場合の対応 ⑤ 相談機関との連携 ⑥ エンパワメント・アドボケイト
時間数合計	9		
使用する機器・備品等			
使用テキスト	(財)長寿社会開発センター 介護職員基礎研修テキスト		

介護職員基礎研修科目別シラバス

事業者名	研修担当部署	講習期間	実施場所
医療法人啓信会	ヘルパースクール萌木の村	H24.1.22 ~ H27.1.21	大久保校
科目名	9 生活支援のためのアセスメントと計画		
指導目標	1 ケアプランのアセスメント、作成方法を学び、生活全体をプランする「生活プラン」を学ばせる		
	2 アセスメントからケアプラン作成の流れと居宅サービス計画との関係を理解させる		
	3 ケアプランに基づいたサービスの流れと、事業所と職種間の連携について理解させる		
細目	時間	内容	
生活プランのアセスメントと計画① 担当講師 村上 由佳	13:30 3 16:40	1 生活プランの考え方 ① 生活全体のアセスメント ② 生活全体のプランニング支援 ③ 生活プランとケアプラン	
生活プランのアセスメントと計画②③ 担当講師 村上 由佳	9:30 6 16:40	2 ケアプランとサービス計画の内容・機能 3 ケアプランとサービス計画の作成手順 ① 施設ケアプランと居宅ケアプランの内容 ② 居宅・施設サービス計画・各サービス計画とサービスの関係 ① アセスメントとニーズの把握 ② 居宅ケアプランの作成 ③ ICFに基づくアセスメントや実践への展開 ④ 各サービス計画の作成	
生活プランのアセスメントと計画④⑤ 担当講師 村上 由佳	9:30 6 15:40 16:40	4 ケアプラン・サービス計画とサービス提供の実際 5 地域生活支援のための地域環境のアセスメント技術と留意点 修了試験 ① ケアプラン・サービス計画に基づいたモニタリングと記録 ② 介護職のアセスメントと連携、ケアプラン・サービス計画の見直し ① 利用者の希望を把握・推測するための視点・方法 ② 利用者のインフォーマルなつながりの把握の視点 ③ 外出支援のプログラム等における安全への配慮の視点・方法 ④ 地域生活支援の際の利用者・家族への説明・同意・契約	
時間数合計	15		
使用する機器・備品等			
使用テキスト	(財)長寿社会開発センター 介護職員基礎研修テキスト		